

木太町 第2次コミュニティプラン

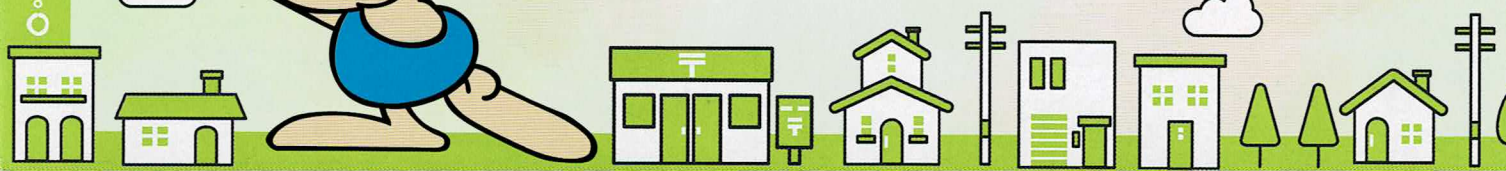
広げよう、 安全安心、地域の輪



令和4(2022)年3月撮影



令和4年5月
木太地区コミュニティ協議会



目次

1.ごあいさつ	P.1
2.木太町の概要	P.2
3.木太地区コミュニティ協議会及び協力団体組織図	P.2
4.第2次コミュニティプラン策定までの過程と目的	P.3
・企画委員会の足跡	
・第2次コミュニティプラン作成に至る経過	
5.第2次コミュニティプラン	P.5
・木太町の目指す目標	
・目標達成のための重要取組み9項目	
・各取組み9項目の「現状」「課題」「対策」	
6.計画の実行体制	P.10

1.ごあいさつ

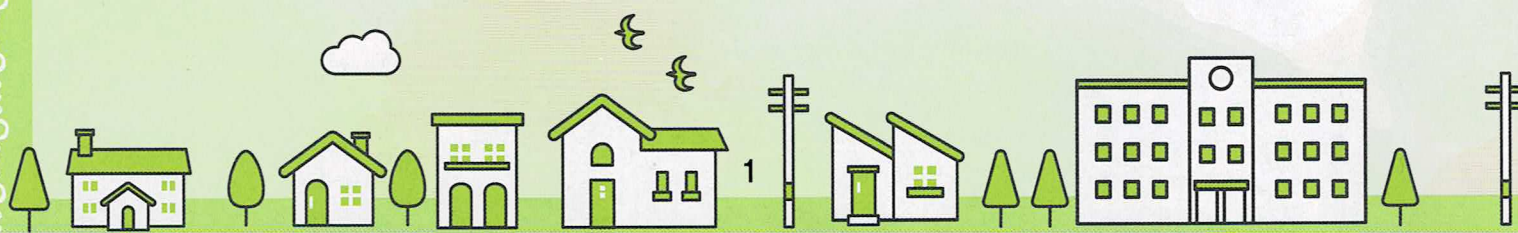
木太町の皆様方には「木太地区コミュニティ協議会」の活動や取り組みに対し、日頃よりご協力いただき感謝申し上げます。

当協議会は設立から約20年経過し、この間木太町キャッチフレーズ「広げよう、安全安心、地域の輪」のもと、これを実現するために多くの活動に取り組んでまいりました。

近年、コミュニティ活動の重要性がますます期待されています。この事を踏まえ、今回第2次コミュニティプランを策定いたしました。従来のキャッチフレーズに加え「社会的弱者にやさしいまちづくり」の実現に向け、持続可能な社会作りに取り組んでまいります。このプランの達成は、木太町で生活する皆様の協力が欠かせません。より一層のご協力をお願い申し上げます。

最後に、このプラン策定にあたり地域の皆様方の貴重なご意見をいただいた事に対しお礼申し上げます。

木太地区コミュニティ協議会
会長 久保 健



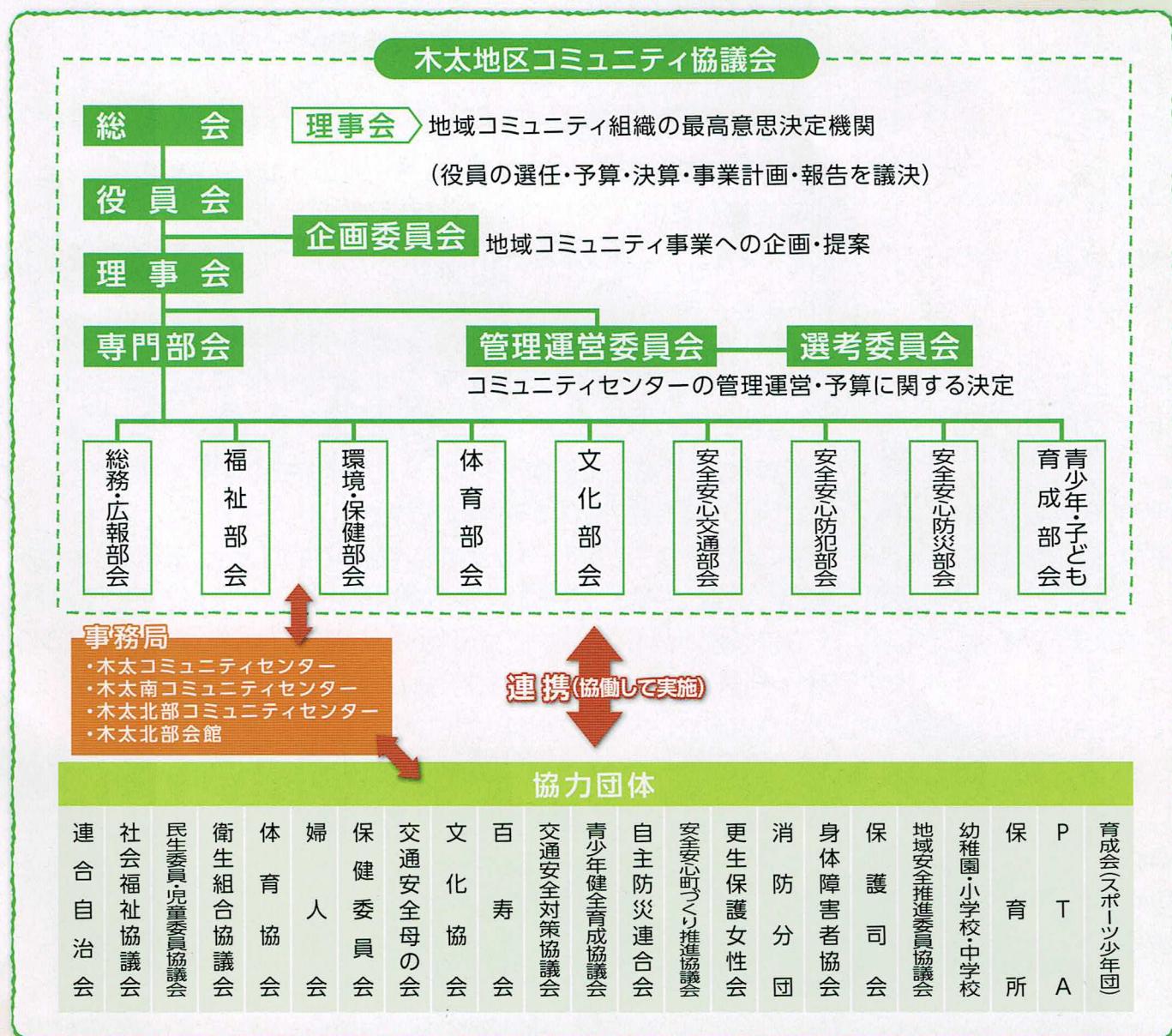
2.木太町の概要

木太町は、高松市の中心部よりやや東よりに位置し、東は春日川から西に約2km、北は海岸から南に約4kmの南北に長い地形であります。

昭和15年に高松市との合併以来、ベッドタウンとしての発展はすさまじく、令和4年1月には人口約32,000人、14,900世帯を超え、また地区内に小学校4校及びコミュニティセンターが3ヶ所ある広い地区であります。

木太地区コミュニティ協議会は、「木太町はひとつ」の理念を忘れることなく、地域の発展に努力しています。

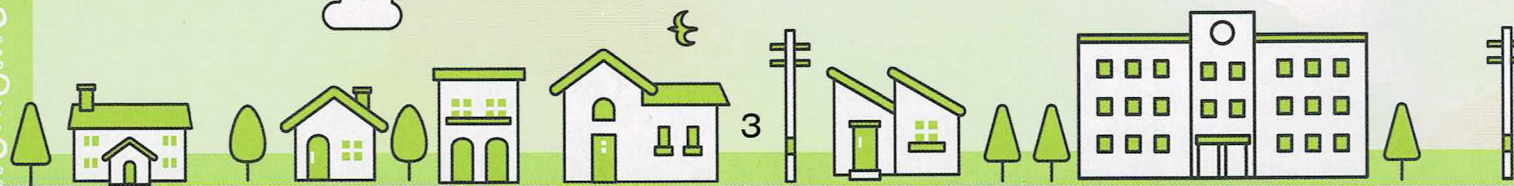
3.コミュニティ協議会及び協力団体組織図



4.第2次コミュニティプラン策定までの 過程と目的

1 策定までの過程(企画委員会の主な足跡)

平成14年(2002年)	8月	木太地区連合自治会主催「わがまち手づくり講座」開催
平成15年(2003年)	4月	第1次コミュニティプラン作成
	12月	企画委員会準備会発足
平成17年(2005年)	6月	キャッチフレーズ「広げよう、安全安心、地域の輪」立案
平成18年(2006年)	2月	木太地区コミュニティセンター管理運営委員会設置
平成20年(2008年)	2月	木太企画が市よりコミュニティ協議会委託事業を請ける
	4月	「あまから通信」発刊の検討開始
平成21年(2009年)	4月	「あまから通信」発刊
	5月	地域夢づくり事業で「あまからチャリンコで町づくり」が1位
平成22年(2010年)	6月	企画委員会で「あまから祭り」のリニューアル決定
平成23年(2011年)	2月	中央インター通り開通式典を木太地区コミュニティ協議会が主催
	3月	木太地区コミュニティ協議会ホームページのリニューアル検討
	10月	企画委員会で「防災マップ」作成検討
平成24年(2012年)	10月	平成25年度夢づくり推進事業「きれいな町づくり宣言・マナーアップ作戦」に取り組む
平成25年(2013年)	1月	防災マップ完成、配布
	5月	「高松市健康チャレンジ2013」で木太地区が最優秀賞受賞
平成26年(2014年)	4月	「きれいな町づくり宣言～マナーアップ作戦」看板を町内に設置
平成27年(2015年)	5月	平成28年度夢づくり事業「めざそう自治会加入100%」に決定
	7月	企画委員会で「高松市健康チャレンジ2015」実施について検討
平成28年(2016年)	4月	「めざそう自治会加入100%」事業を開始
平成29年(2017年)	4月	将来に向けたコミュニティプラン策定・課題解決(コミュニティGo)の説明
	5月	第2次コミュニティプラン策定に向け、10年後の木太町を創る研修会を開催
平成30年(2018年)	4月	上記研修会内容を受け、平成30年以降のまちづくりについての検討開始
	11月	「木太地区地域福祉ネットワーク会議」発足
平成31年(2019年)	1月	企画委員会で「子ども安全見守り日」を決定(毎月第1火曜日)
	3月	木太コミュニティセンター建て替え完了、運用開始
	5月	企画委員会で「生きがいと健康のまちづくり」のテーマに決定
令和元年(2019年)	11月	企画委員会で「健康ウォーキングの日」を決定
令和2年(2020年)	1月	健康ウォーキング活動開始
令和3年(2021年)	3月	防災マップ改訂版配布
	8月	避難行動要支援者名簿見直し実施
令和4年(2022年)	5月	第2次コミュニティプラン発行(第192回)



2 第2次コミュニティプラン策定に至る経過

第1次コミュニティプランを発表して約10数年経過し、今回成果を確認したところ、目標に対して多くの成果が得られたことが分かりました。特に大きく評価できるのは、多くの事業が継続的に実施されていることであり、私たちはこの事業を継続していく事の重要性を再認識しました。

近年、少子高齢化社会が進む中「南海トラフ地震」「地球温暖化による集中豪雨」など大災害の発生が予想され、地域住民への安全に対する脅威が以前より大きくなりつつあります。特に大災害時には行政の力に頼らない「地域住民による助け合い＝地域共助力」の重要性が叫ばれています。

このような社会変化に対して第1次コミュニティプラン成果確認時、これらの所を盛り込んだ新しいプラン策定の必要性を感じました。こうしたなか、高松市の「コミュニティプラン見直し支援事業」活動が始まり当コミュニティ協議会としては、これに賛同する形で新規策定事業を実施する事にいたしました。

近年注目されている全世界的な活動SDGsの内容はコミュニティプランに一致する項目が多くあり、私たちはこのプランに自信をもって推進していきたいと思います。

SDGs?

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発目標 (SDGs:Sustainable Development Goals) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

木太地区コミュニティ協議会は、持続可能な社会の実現のためにさまざまな取り組みを実施しています。SDGsと関連する取り組みについてはSDGsのアイコンを掲載いたします。



5.第2次コミュニティプラン



目指す目標

社会的弱者にやさしいまちづくり

木太町
キャッチフレーズ

「広げよう、安全安心、地域の輪」

平成29年「10年後の木太町を創る」ワークショップから始まり令和2年までの企画委員会
で出された意見を集約しました。

私たちはこれらを具体的な取組みを9項目に分け、今後10年間でそれぞれの課題に対する
具体策を練り、目標達成を目指します。

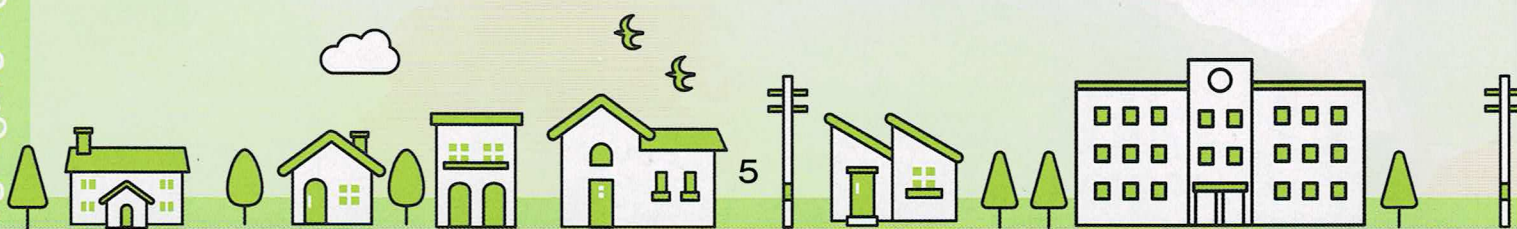


目指すまちづくり9項目

- ① 子育てしやすいまちづくり
- ② 生きがいと健康に配慮したまちづくり
- ③ 安全安心が実感できるまちづくり
- ④ 人が集まり笑顔あふれるまちづくり
- ⑤ ボランティア体制が整ったまちづくり
- ⑥ 災害に強いまちづくり
- ⑦ 環境に配慮した、きれいなまちづくり
- ⑧ 自治会活動が活発なまちづくり
- ⑨ 文化活動のさかんなまちづくり



コミュニティ活動の拠点



各取組み9項目の現状、課題及び対策

1 子育てしやすいまちづくり

青少年・子ども育成部会

現状

- ・コミュニティセンターの各種教室(ベビー・親子教室等)
- ・コミュニティセンターの図書室開放
- ・子ども会の加入率の減少
- ・各小学校へのボランティア支援
- ・休耕田を活用して世代間交流

課題

- ・保育後、放課後安心して子どもを預けられる場所
- ・子ども会の加入促進
- ・親同士、子ども同士が話し合える場所

対策

- ・コミュニティセンター施設の利用、活用のPR
- ・地域と福祉施設との連携
- ・子ども会と自治会の連携
- ・子どもたちが集える広場、公園の整備促進
- ・子ども食堂、フードバンク活動への応援



▲コミュニティセンター子育て応援



◀子ども食堂 ▲サツマイモ植付け

2 生きがいと健康に配慮したまちづくり

福祉部会

現状

- ・健康ウォーキング活動
- ・体育協会、百寿会のスポーツ大会
- ・保健委員会による健康づくり活動
- ・高齢者居場所づくりの実施

課題

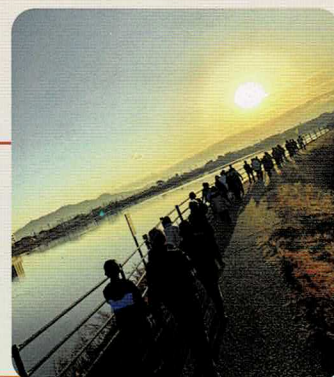
- ・健康診断受診の向上
- ・高齢者が活動できる場所が少ない
- ・核家族化による世代間交流の減少
- ・1人暮らし高齢者の増加

対策

- ・地域で定期的な運動の実施
- ・健康診断の受診率アップへの啓発活動
- ・生きがい(社会参加)への声かけ
- ・現在実施している活動のPR



▲グラウンド・ゴルフ大会



▲健康ウォーキング

3

安全安心が実感できるまちづくり

安全安心交通、安全安心防犯部会

現状

- ・登下校時の子ども見守り活動
- ・青パトでの校区内防犯啓発活動
- ・交差点での交通キャンペーン(毎月)
- ・カーブミラーの点検、清掃
- ・危険場所の確認と対策を関係各機関に提言

課題

- ・道が狭く交通量も多い危険な場所が点在
- ・小学生の登下校時の安全確保(自動車、不審者)
- ・子どもの防犯意識の向上
- ・交通マナーの向上の推進

対策

- ・見守り隊と地域住民の連携で防犯力向上
- ・住民と子どもの互いの挨拶、声かけ運動
- ・登下校時の安全安心見守り活動の人員確保
- ・安全安心のための防犯パトロール活動
- ・「子どもSOSの家」登録の推進



▲カーブミラー清掃



▲下校時安全見守り



▲交通キャンペーン

4

人が集まり笑顔あふれるまちづくり

体育、文化、青少年・子ども育成部会

現状

- ・木太地区3大行事(町民大運動会、あまから水祭り、文化祭)
- ・各校区のPTA、育成部会の行事
- ・八坂神社秋の大祭

課題

- ・少子高齢化による担い手の減少
- ・子ども中心のイベントの企画
- ・自治会未加入者へのイベント情報発信
- ・子ども会未加入世帯の増加

対策

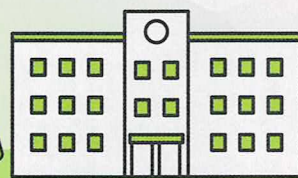
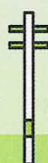
- ・自治会、子ども会及び学校の連携に「子ども企画委員会」を
- ・今あるものを充実させながら、新しいイベントを検討
- ・伝統行事(地域の祭り等)への参加協力
- ・子ども会加入への声かけ



▲あまから水祭り



▲町民大運動会 ▼八坂神社 秋の大祭



5

ボランティア体制が整ったまちづくり

総務、福祉部会



現状

- ・コミュニティ協議会を中心とした各種団体
- ・各小学校区の協力団体

課題

- ・ボランティアの高齢化と担い手不足
- ・次世代リーダーの育成が必要
- ・共働き世帯増加によるボランティアの減少

対策

- ・ボランティアの人材バンク(特技、技能)作り
- ・住民全体を対象としたボランティア人材バンク
- ・学校と地域の連携



▲一人暮らし高齢者の食事サービス事業



▲育成部会による犯罪防止啓発活動



▲婦人会によるチャリティ活動



▲保護司会、更生保護女性会活動

6

災害に強いまちづくり

福祉、安全安心防災部会



現状

- ・木太地区防災避難マップの作成と更新
- ・福祉ネットワーク会議で「避難行動要支援者名簿」の更新
- ・年1回の防災訓練実施

課題

- ・災害時の高齢者、障がい者の避難対策
- ・災害時の地域住民同士の助け合い
- ・防災意識の高い町

対策

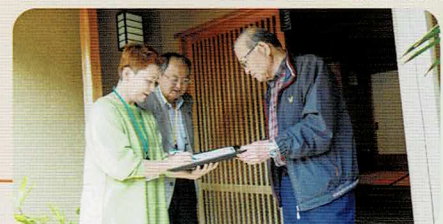
- ・避難行動要支援者名簿の更新及び見守り活動
- ・地域の福祉と防災に関わる関係者との連携
- ・防災マップの定期的更新と活用(マップを使った講習会)
- ・住民による定期的な防災訓練
- ・災害時の避難場所、避難経路の確保、避難所の運営等
- ・避難物資の確保と充実
- ・自治会加入の促進



▲学校との連携で消防訓練



▲住民の防災訓練



▲災害時避難行動要支援者名簿の更新活動



7

環境に配慮した、きれいなまちづくり

環境、保健部会

現状

- ・クリーン高松、河川清掃
- ・学校単位による清掃活動
- ・健康ウォーキングでのごみ拾い
- ・「きれいな町づくり・マナーアップ作戦」の環境啓発

課題

- ・ごみステーションの汚れとカラス対策に苦慮
- ・河川、道端及び道路へのごみ投棄
- ・野良猫、飼い犬の排泄物の放置
- ・廃プラスチック対策

対策

- ・花いっぱい運動、花壇の整備、増設
- ・ごみ拾い、清掃活動の実施
- ・ごみの分別を徹底



▲マナーアップ作戦



▲高松市の一斉清掃



▲河川清掃

8

自治会活動が活発なまちづくり

全部門

現状

- ・自治会活動は広報紙(あまから通信)で発信
- ・各種活動案内を回覧にて周知
- ・「めざそう自治会加入100%」事業の実施

課題

- ・自治会加入者が減少
- ・高齢者の自治会からの退会増加
- ・自治会活動を知らない多くの住民
- ・現在自治会加入率約60%(令和3年4月)
- ・マンション、借家の自治会加入率が低い

対策

- ・自治会加入の促進運動
- ・自治会活動の広報紙(あまから通信)利用
- ・全戸への周知を図るため、ホームページを活用



▲盛り上がる自治会活動



▲自治会主催年末餅つき

▲献血事業

9

文化活動のさかなまちづくり

文化庁、青少年・子ども育成部会



現状

- ・文化協会の各種事業
(事業名:文化祭、音楽祭、ふれあいコンサート)
- ・史跡マップ作製
- ・史跡の保全活動と語り部の育成



▲文化祭の風景

課題

- ・世代間を超えた交流の場作り
- ・木太町の歴史、地域の良さの継承
- ・交流がつながっていく様なシステム作り



▲音楽フェスティバル

対策

- ・史跡巡りツアー実施に史跡マップの有効利用
- ・小・中学生による企画委員会への参加
- ・現在のイベントを通して地域の魅力をアピール
- ・学校とコミュニティの関係強化



▲木太天満宮「迎春しめ縄づくり」

6.計画の実行体制

コミュニティプランの事業実施にあたって、コミュニティ協議会の専門部会と協力団体との調整・連携を図り、それぞれの事業活動に対して実行委員会・プロジェクトチーム等を立ち上げ、実現を図ります。

企画委員会は地域コミュニティ事業への企画・提案を主たる目的として活動しており、コミュニティプラン実施に際し各関連部門の関係が円滑に進むよう提言等を行ってまいります。

企画委員会は毎月第2月曜日に開催し、令和4年5月で192回を迎えております。



▲企画委員会プロジェクト 木太町夢えがきワークショップ、自治会加入世帯マップ作り

あまから音頭

作詞 かわだきよし
作曲 宮武好数
振付 谷本島代

一・波静か「三カメ」が淵の詰田川
ツメタガワ

イカダに乗って牛頭さん
ゴース

「カメ」を土産に福を呼ぶ
フク

* 今も栄える木太の里
マタ

あまから音頭で水祭り水祭り

アーヨイシヨ ヨイシヨ

二・新池の水は流れて宮川の

夜空に乱舞ホタルさん
ランブ

淡いヒカリで恋を呼ぶ
コイ

(*くりかえし)

三・大川はあま水から水だきあつて

仲良くのぼるアカ目さん

泳ぐ姿は愛を呼ぶ
アイ

(*くりかえし)



昭和61(1986)年頃



ご意見・ご提言

TEL:087-834-5547(木太コミュニティセンター)
木太町ホームページ:<http://www.kita-town.com/>
Facebook:<https://www.facebook.com/kitacomicen/>



木太地区コミュニティ協議会
コミュニティプラン作成委員会

